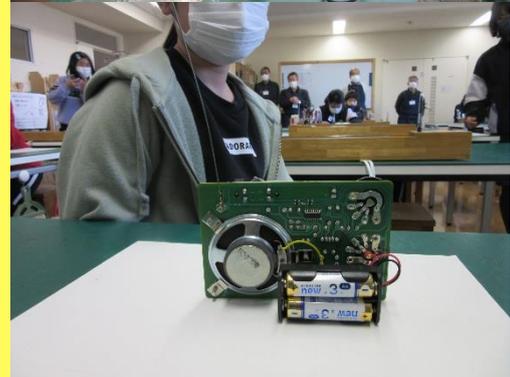
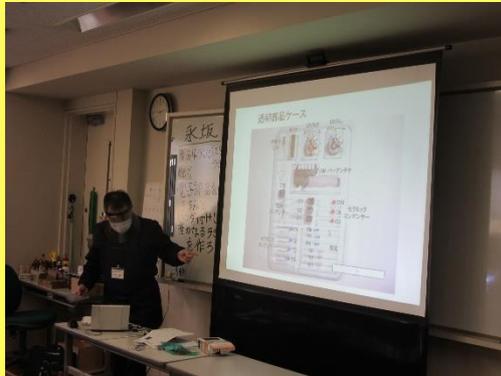


令和4年2月27日（日）

6年生「トランジスタラジオ」 （卒業制作）

【色をよく見て判別し、それを番号にとりつける】



6A 坂下 心悠さん

細い部品の針がねを穴に通すとき、なかなか入らなかったり、間があかなかったりして難しかったです。また、ハンダをするときも盛りすぎなどがあり、ハンダがとなりの部品とくっつきそうだったのでそこに気をつけて作業しました。たくさんまちがえたりしましたが、先生たちのおかげで4年間続けてこられました。これからも物を作る楽しさを忘れず、中学校もがんばっていきたいです。先生たちに教えてもらってすごく良い物ができました。私の家はラジオはなかったのでとても日常生活や災害のときなどに役立つと思います。4年間とてもいい作品ばかりでした。発明クラブで作品を作る楽しさを教えてもらいました。中学校ではもっと難しくなるかもしれませんが、クラブのような作品を作れるといいなと思います。ありがとうございました。

6B 宮川 茉優さん

作業はとてもしんちょうにできました。はんだ付けをあまりやっていたいなかったので、こんなにはんだ付けはしたことがなかったです。ねじをとめるときも根元までしっかりとめられるように固定してしっかりとめました。今日は板を切ったりせず、ほとんどはんだ付けやねじとめでせんさいな作り方でした。作り終わった直後は、とても小さく、裏もそのまま見えていたので、ラジオみたいに音が出ないかもしれないと思ったけれど、しっかりと音が出ておどろきました。本格的なラジオができて、いろいろな音が出るようにうまくできました。もっと他のラジオが聞きたいと思ったけれど、ラジオを聞ける基準が分からなかったのが難しかったです。